



2017・11・11

第 289 号

101-0065 東京都千代田区  
西神田 2-5-7 神田中央ビル 303

TEL 03-3221-5075

FAX 03-3221-5076

## 年内に改憲案、通常国会提出の構え崩さず

### 自民党改憲推進本部、来週再開

自民党改憲推進本部は11月8日幹部会を開き、総選挙で中断していた全体会を来週から再開することを決めました。

総選挙で議席の変化があったため、本部長に細田博之・元幹事長、事務総長に根本匠・復興相、事務局長に岡田直樹・参院議員の顔ぶれとなり、新たに推進本部長補佐になった萩生田光一・党幹事長代行は「年内に深掘りをし、来年の通常国会に向けて準備をしていこうというスケジュール観は役員で共有している」と語っています。

### 全国で11・3行動を多彩に展開

11月3日は憲法公布71周年記念日。東京で4万人の国会包囲行動がおこなわれ、これに呼応し、各地で学習・宣伝行動が多彩にとりくまれました。

#### 多彩な顔ぶれでリレートーク

【青森県】 青森市では、「11・3国会包囲大行動」に連帯する青森市民集会・パレード（青森県九条の会、平和労組会議、県労連、共産党、社民党など12団体共催）が

開かれました。

「安倍政権No！憲法守れ」のプラカードや横断幕を掲げる200人以上の参加者に門倉昇県九条の会共同代表は、「市民と野党の共闘をいまこそ広げましょう。安倍改憲阻止へ結集しよう」と団結を呼びかけました。

集会では、県平和労組会議の赤平泰衛事務局長、県労連の柳谷政志副議長、共産党の高橋千鶴子衆院議員、社民党の三上武志県連代表がリレートーク。民進党の田名部定男県連代表からの連帯メッセージが紹介されました。

参加した工藤哲子さん（60代）は、「市民と野党の共闘が前進した選挙結果に自信を持っています。安倍改憲阻止に力を尽くしたい」と元気に語りました。

#### 国会の議席状況に負けない運動を

【和歌山県】 戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会がよびかけた「安倍9条改憲NO！わかやまアクション」が3日、和歌山市で開かれ300人が参加しました。

憲法9条を守るわかやま県民の会の琴浦龍彦さんが「国会の議席状況に負けない運

動を広げよう」と開会あいさつ。リレートークで憲法9条を守る和歌山弁護士の会の藤井幹雄弁護士は「憲法を大切にしようという流れがある」と広範な共同を訴え、九条の会・わかやまの柏原卓さんは「自衛隊を憲法に書き込むことは9条を壊す」と反対。9条ネットわかやまの花田恵子さんは「戦争は人間が人間じゃなくなる」とのべ、和歌山信愛女子短期大学の伊藤宏教授は「今の憲法で困っていることがあるだろうか」と指摘しました。戦争をさせない和歌山委員会の真野勝也さんが「過去のしがらみ乗り越えて集まったわれわれの気持ちを伝えよう」と閉会あいさつし、参加者らは市内をアピール行進しました。

### 北朝鮮の問題は話し合いで解決を

**【福島県／福島県九条の会】** 福島県九条の会は3日、JR福島駅前安倍9条改憲NOの「3000万署名」を呼びかけました。

32人が「アベ政治を許さない」「憲法まもれ」と書いたプラスターを掲げて市民にアピールしました。

参加者の「安倍9条改憲に反対する署名です」との呼びかけに、市民が次々に足を止め署名しました。

高校1年生の男子生徒は「このままだと自分も戦争に行くことになりそうです。武力では何も解決しないと思います。北朝鮮の問題は話し合いで解決してほしい」と真剣な表情で語りました。

中学3年の女子生徒は「戦争は怖いしおきてほしくない、9条は変えないでほしい」、別の女子生徒も「職業体験で訪れた老人ホームでお年寄りから戦争体験を聞きました。

平和な環境がなくなるのは嫌です」と話し3人そろってサインしました。

1時間で71人が署名しました。

### 19歳青年が「戦争はいやだ」と

**【富山県／9条の会富山連絡会】** 9条の会富山連絡会は3日、富山市で3000万署名に取り組みました。

自由法曹団富山支部の水谷敏彦弁護士と「憲法9条ファンクラブ」の柴田健次郎氏は、安倍政権が来年の通常国会での9条改憲の発議と国民投票の実施を狙っていることを指摘。自衛隊が憲法9条に明記されたら、2項が死文化されて正真正銘の軍隊になり、アメリカといっしょに世界の紛争に参戦するとなると述べました。

19歳の男性は「9条守る署名ですか。俺ら戦争いやだ」と署名。戦争を体験したという女性(83)は「戦争を反省してできた憲法は、変えるわけにはいかない」と署名に応じました。

### 絶え間ない学習で訴える力を

**【三重県／九条の会みえネットワーク】** 三重県津市で3日、「安倍9条改憲NO! 交流討論会」が開かれました。「九条の会みえネットワーク」と「市民連合みえ」が初めて共催。総選挙で改憲勢力が3分の2の議席を占め9条改憲の動きが強まるもと、「安倍改憲を止めよう」と会場いっぱいの約200人が参加しました。

「戦争をさせない三重県1000人委員会」の前畷徳男事務局長が、「安倍9条改憲ノーで思いは同じ。国民の力、大衆行動で私たちの未来を切り開きましょう」とあいさつ。

市民連合みえの森原康仁三重大学准教授は、総選挙で4選挙区中2選挙区で野党統一を実現し、「安倍政権下での9条改憲を許さない」と協定を結んだ2区の中川正春氏（無所属）を当選させた教訓を報告。

九条の会みえの三宅裕一郎三重短期大学教授は、安倍改憲論で9条に自衛隊を書き込む倍改憲論のねらいを指摘し、「安倍改憲を阻止していくために私たち市民が絶え間なく学習し連携し、相手に思いが伝わる表現を磨いていくことが重要」と述べました。

フロアから活発な質問や意見が出されました。学習会に初めて参加した女性（26）は、「憲法9条は変えてはいけない。きょうの話聞いて、私たち一般の市民が世の中を変えていく力だと感じた」と語りました。

### 安保法制違憲訴訟の意義学ぶ

**【鹿児島県／かごしま九条の会】** かごしま九条の会は3日、憲法公布71周年を記念し、九条の会世話人で「安保法制違憲訴訟の会」の共同代表を務める伊藤真弁護士を迎えた講演会を鹿児島市で開き、約200人が集いました。

伊藤弁護士は「私たちは戦争を許さない」と題して講演。9条に自衛隊を明記すれば、安保法制によって自衛隊の活動範囲が広がるだけでなく、国防や防衛を理由に国民の人権を制限することが可能になり、「国の形が大きく変わってしまうと強調。憲法違反の戦争法廃止と安倍政権がめざす9条改憲を止めるために「市民として主体的に行動し、おかしいと思うことに声を上げ続けることが重要」と訴え、安保法制違憲訴訟への参加を呼びかけました。

### 「米軍と一緒に戦争させない署名」

**【札幌市手稲区／新発寒9条の会】** 新発寒9条の会は、「9条を守る署名にご協力ください」と日本国憲法が公布された71年の3日に合わせて、「記念日スタンディング宣伝・署名」をJR手稲駅北口と南口を結ぶ自由通路でくり広げました。

「市民の風」ののぼり、「3000万人の声を届けよう」と書いたプラスターを掲げ、25人が「黙っていたら憲法が壊されます」「米軍と一緒に戦争させない署名です」と口ぐちに訴えました。

「戦争はもうしないと誓った憲法は、日本だけでなく、世界のもの。守らないと」と署名したのは、中学1年の男子生徒。「兄が異国の地、シベリアで亡くなりました。いまも仏壇の前で手を合わせています」と78歳の女性。「戦争は人間を変えてしまう恐ろしいもの。絶対だめです」とペンをとりました。

5歳の長男の母親も立ち止まって「平和であり続ける社会で、大きくなってほしい」とサインしました。

同時刻、「市民と野党の共闘を求める手稲区の会」が手稲駅北口で大型の横断幕を掲げて、スタンディング宣伝をしました。

### 政治の変革あきらめない

**【大分県臼杵市／九条の会うすき】** 九条の会うすきのメンバーは3日、市内の交差点に立ち「安倍9条改憲許さない」の声をあげました。同会事務局の佛坂よし子さん（68）ら9人が「アベ政治許さない」のプラカードや横断幕などを掲げて道行く市

民、車にアピールしました。

「憲法変えるな。政治を変えよう！」との手書きの横断幕を掲げた女性は「総選挙で安倍首相を倒せなかったのは残念だが、あきらめたらだめだと思い、今日も参加した」と話しました。

佛坂さんは「毎月3日の交差点での行動は2年以上続き、野党議員も駆けつけてくれる。草の根での市民と野党の共闘が政治を変える大きな力になると確信している。だから声をあげ続ける」と語りました。

### 駅前集会でリレートーク

**【奈良県橿原市／橿原市9条の会】** 橿原市9条の会は3日、「安倍改憲ストップ、3000万署名の大運動を」と近鉄大和駅前集会を開きました。

うねび9条の会の林友雄代表世話人は「改憲に執念をもやす安倍首相のたくらみを阻止し、3000万署名の運動を成功させるために奮闘しよう」と開会のあいさつ。

市民連合に加わる戦争させない奈良1000人委員会よびかけ人・浅川肇さんが「私たちは団結して、安倍政権の悪たくみを壊し、憲法9条を守りましょう」と連帯のあいさつをしました。

奈良ママの会・SOUTHや奈良、香芝、桜井、宇陀、斑鳩、など近隣市町の9条の会代表も次々発言しました。

参加者は集会後橿原市役所まで「憲法9条守れ」「安倍内閣は退陣せよ」「立憲野党は団結せよ」などとコールしながらデモ行進をしました。

### 「はと風船パレード」でアピール

**【鳥取市／鳥取市9条の会】** 鳥取市9条の会は3日、市内で憲法9条を守ろうと呼びかける「はと風船パレード」を実施。

「木のまつり」でにぎわう若桜街道で、用意した200個の「はと風船」を憲法9条の大切さを訴えたビラとともに渡して回りました。「憲法9条をかえないで」の署名にも取り組みました。

7歳と4歳の孫娘を連れて参加した松本絹子さん(67)は「安倍政権が憲法9条を変えようとしていて、危うさを感じます。平和憲法の大切さを若い人に伝えたくて参加しました」と話していました。

憲法署名を書いて届けにきた参加者も。あちこちで「はと風船」を受け取って街道を歩く親子連れの姿が見られました。

### 国民投票まで行かせない世論を

**【三重県四日市市／九条の会よっかいち】** 九条の会よっかいちは5日、市内で愛敬浩二名古屋大学大学院教授を招いて「憲法を考える市民のつどい」を開き、約60人が参加しました。

愛敬氏は「総選挙後の改憲情勢と私たちの課題 安倍9条改憲を阻むために」と題して講演。総選挙で改憲動向にどんな変化が生じたか、安倍9条3項「加憲論」の問題点と危険性を解明。「国民投票で50%を取らせない条件をつくれば国民投票ができなくなる」と、9条改憲国民投票にもちこませない取り組みを訴えました。さらに安倍「加憲」提案を否決すれば、自衛隊が海外で武力行使をすることが違憲となり、「安保法制の閣議決定前に戻すことになる。その上自衛隊の海外派遣の全面禁止が現実味を

おびる」と訴えました。

会場から、「9条3項が加わると2項が死文化することがよく分かった」「政権交代がなくても、安保法制が廃止できるという話は励みになる」等の感想が出されました。

## 市民と野党の共闘の成果を確認

【東京都三鷹市／三鷹9条の会】 9条改憲を許さず、平和を次の世代に引き継ごうと、三鷹市の三鷹9条の会は同市内で1日、政治学者で平和研究所研究員の木下ちがや氏（46）を招き、講演会を開催しました。

木下氏は、野党第1党になった立憲民主党について「市民と共産党、社民党が下支えしてできた政党です。9条堅持を表明する野党第1党が出現したことは画期的だ」と評価、「より完成度の高い市民と野党の共闘が可能な状況が生まれた」とのべました。

総選挙をめぐる各政党の状況について▽議席を減らしたが影響力を強めている共産党▽比例票を減らし「安倍改憲」に慎重にならざるを得ない公明党▽議員の多くが9条改憲に反対の希望の党▽41議席から10議席まで後退した維新の党▽（党内で）安倍一強を壊せず脱皮できなかった自民党一と分析。選挙を通じて表れた民意をつかむことが大事だとのべました。

「シールズ琉球」の立ち上げに関わった元山仁士郎さん（26）も登壇し、木下氏とトークセッションを行いました。

フロアから質問が多く寄せられ、若い世代へどう訴えていけばよいかという問い、2氏は「欧米では若い世代ほど、左派政党への支持が高まっている。関心に沿った身

近な距離からの情報発信が重要ではないか」と答えました。

## 9条守れの声が多いことを確認

【東京都足立区／千住九条の会】 5日、「憲法九条を私たちの手で守り生かそう！ピースアクション in 北千住」を開催しました。当日は200名が参加。千住の公園から駅前までサウンドパレードとコールで市民に「憲法九条を守ろう」とアピールしました。今年は国会前の希望のエリアで毎週金曜日にアクションをされているドラム隊と前進座女優さんのコールのご協力を得て、迫力のあるドラムとコールに道行く人々が注目し、歌も歌いながら賑やかにアピールできました。

パレードのあとは、北千住駅前でのリレートークと音楽・舞踊パフォーマンスとコールで通行人に訴え。各野党区議、学者、元住職、元区長など次々とスピーチ。今回は足立デモクラシークルーの若者も九条を守り抜く決意を述べ今後、九条の会にも参加したいとのこと。3000万署名も同時に行い、歌や沖縄エイサーに足を止めている人々に署名をお願いすると応じてくれる方が多く、1時間半で280筆集まりました。中学生や高校生も「九条は大切。平和がいい」と署名してくれました。

署名をしてくれた若い女性はその場で連絡先を教えてくれ、次回イベントにお誘いすることにしました。「九条を守りたい」という老若男女が沢山いることを実感したアクションでした。今後も音楽を交えたアクションを継続していきます。（中田 順子）

## シール投票で対話はずむ

### 【横須賀市／横須賀市民九条の会】

安倍9条改憲を 知っている 知らなかった

追浜駅前 34 11

衣笠駅前 22 9

久里浜駅前 19 7

自衛隊の9条加憲に 賛成 反対 分からない

追浜駅前 2 26 17

衣笠駅前 1 21 4

久里浜駅前 2 20 3

#### <衣笠地域では> 松本友子さん

10月の9の日は休日だったので、人通りはいつもより少な目でした。でも、参加者10名で元気よくシール投票に取り組むことが出来ました。

高校2年生の男子生徒が、脇に来てずっと話しかけて来ました。「憲法は古いのではないか」「改憲はどういけないか」「基地のこととか、こういう話をするのが自分は好きなのだが、話す人が居ない」といいました。

18歳以上に選挙権となっても、リーフやちらしを取る高校生が増えないのは、学ぶ機会がないのだと思います。「中立」が捻じ曲げられ、「忖度」が横行するのが、ジャーナリズムや役所だけでなく、教育にも及んでいるのではと思えてなりません。

#### <追浜地域では> 萩原富子さん

10月6日、事務局巴さんの応接を受け、7名の参加者もそれぞれ力が湧いて、リーフ配布に、シール投票にまっしぐら…。リーフを受け取ってくれた人には即駆け寄り、ボードを見せて投票に協力依頼。

「知っている」と答える人が意外と多くいましたが、自衛隊明記と聞いてシールを貼る手が止まり、「どういうことになるんですか？」と質問して来る人も。「新しい条文が入るとそれが優先され、自衛隊が現在の災害救助から、海外で戦争できる普通の軍隊へと変わってしまう恐れがあります」と説明。

そんな対話ができると納得されて「それは困るわ。何がイヤと言ったら、戦争に巻き込まれること」と反対の欄にしっかりとシールを貼ってくれました。

学校帰りの高校生も「良く分からないけど」と前置きしたり、「少しは勉強してます」と言ったりしながら、楽しげに協力してく

#### <久里浜地域では> 大竹裕子さん

10月9日は体育の日の祭日。久里浜駅前アーケード入り口はお買い物を楽しむ家族が多い。孫の手を引きながらアンケートに参加する女性は「憲法を改悪（自衛隊を明記）しようとしていることは知っている、もちろん戦争法に反対です。夫は自衛官で定年退職しましたが、この子（孫）の為にも戦争はしてはいけません」とシール投票しました。

小学生の3人の姉妹は、「知らないけど～」「わからないけど～」と悩んでいましたが、正直に分らないにシールを貼り、「家族で良く読んで話し合ってみて」とチラシを渡すと、嬉しそうに「戦争はダメだよ～」と買物中の両親の所に駆けて行きました。

「戦争は反対だけど、自衛隊が国民を守るから安保法制は必要がでは？」という人にもチラシを渡す事出来ました。

（「ワイワイデッキ」NO134）